

# 初戦の相手・慶応は **赤鬼の春** 17 生徒数2200を超える高校 誰もが知る名門、相手にとって不足なし



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

3月16日の抽選により、本校はセンバツ一回戦で神奈川県慶應義塾高校と対戦することになった。相手は、知らぬ者はいない名門校。しかも生徒数が2200人を超え、1学年が18クラスを数えるという。いったいどんな高校なのか。

慶應義塾高等学校は、その名の通り、慶應義塾大学と同じ流れを汲み、卒業生のほとんどが慶応大学に進学する。無事進級できれば、大学に進めるため、のびのびと部活動などに打ち込める環境である。

球強豪校の私学と異なり、スポーツ推薦の制度がない。それにも関わらず、激戦の神奈川県大会を準優勝で勝ち上がり、さらに秋季関東大会でも準優勝を果たすという素晴らしい成績で甲子園に駒を進めている。相手にとって不足はない。慶応の大応援団を彦根東の真っ赤なアルプススタンドで迎え撃ち、本校野球部の勝利を後押しできるよう、堂々と渡り合おう。

## 気合い十分の慶応 —塾生新聞より

慶応最大のメディア「慶応塾生新聞」によると、慶応・下山悠介主将(2年)は「先輩たちがあと一步で甲子園出場を逃す場面を何度も見てきた。(出場を果たせなかった)8年分の先輩たちの思いを僕らの代で絶対に晴らすつもりだった」と語っている。最速142キロを誇るエース左腕・生井惇己投手(2年)は、秋の大会を終えてから体重を5キロ上乗せしたとのことで、入念な体作りがうかがわれる。

「塾生新聞」から感じられる気合いは十分。すでに報じてきたように彦根東の準備も怠りない。熱戦必至。その先に「赤鬼の春」を掴み取りたい。

### 彦根東—慶応 比較

彦根東 (東高)		慶應義塾 (塾高)
959人 (共学)	生徒数	2252人 (男子校)
3学期制	学期制	2学期制
1876年 <small>注)藩校からだ 1798年創立</small>	創立	1856年
自主自律 赤鬼魂	学校理念	独立自尊 半学半教
国公立大学 149人など (2017年)	進学	98%が慶大 に進学 (2016年)
彦根城内	所在地	慶大の日吉 キャンパス
全国・近畿 大会進出ク ラブあり。	部活動	全国大会出 場多数。 文化部30、運動 部50。航空部や 奇術部あり。
田原総一郎 花田勝彦 山名文和 細野豪志	卒業生	石原裕次郎 石坂浩二 浅利慶太 石原良純 櫻井翔 ミッツ・マ ングローブ
<small>(注)慶応高のデータは、ホームページを参照しました</small>		